

自治体の課題、現状

○ 県内の現状

県全体としては、部活動の地域移行について模索を続けている状況。各市町村では地域移行に向け、協議会を設置して検討を進めている。改革推進期間については、それぞれの地域の実情に応じて、引き続き休日の地域移行の取組を進めていく。

○ 課題

- ・指導者の確保、活動場所の確保、活動費用負担のあり方
- ・広域連携に向けた取組

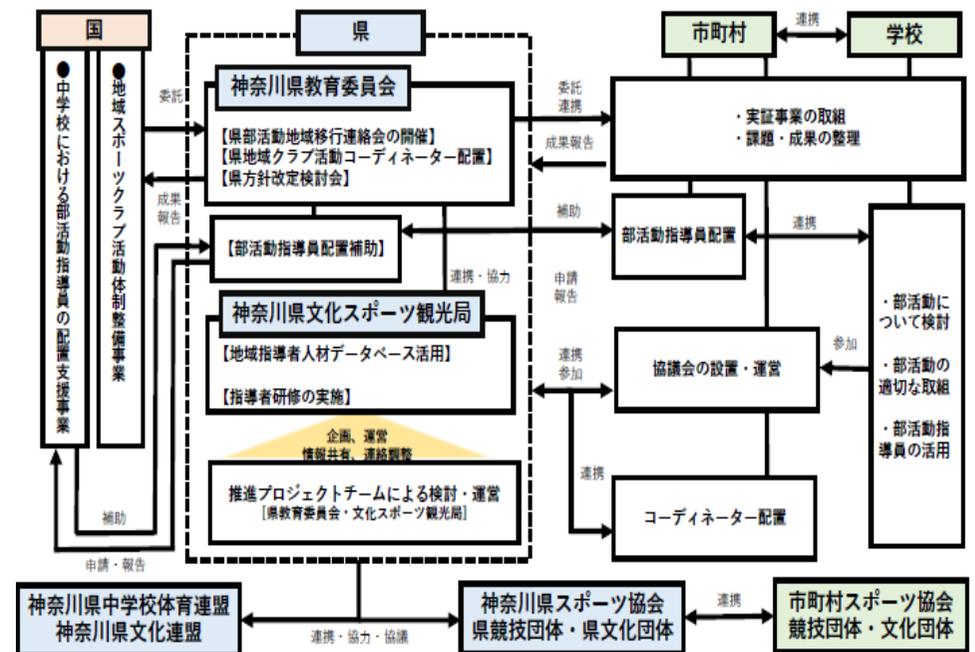
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	408 校	全生徒数	196,689 人
域内の部活動数	4,364 部 (運動部数)	実施した地域クラブ数	—
全体の指導者数	—	全体の運営スタッフ数	—
主な運営団体	市町村教育委員会 総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	サッカー、軟式野球、体操競技、ソフトテニス、陸上競技、柔道、剣道、バスケットボール、卓球、バレーボール		
平均的な活動回数	—	年間平均参加生徒実数	—
参加会費	—	主な活動場所	中学校施設や市町立の体育館

地域移行関連の取組、成果

- 教育委員会、首長部局をまたいだ関係機関による連携（関係 5 課担当者打合せ、庁内連絡会議等）
- 県部活動地域移行連絡会の開催(年 3 回)
- 県地域クラブ活動コーディネーターによる市町村訪問、取組状況の聞き取りや支援
- 県部活動活性化推進協議会ワーキンググループ会議の開催(年 2 回)
- 地域クラブ活動指導者データベースの運用
- 地域クラブ活動指導者研修講座の実施
- 広域連携にむけた、関係市町担当者による打合せの実施

運営体制図



自治体の課題、現状

- ・本市の部活動の加入率は長きにわたり8割を超える高い率を維持している。
- ・「部活動地域移行に係る部活動アンケート」の結果、約7割の教員が将来的に「地域に移行したクラブ活動として行う」ことが望ましい」という回答であった。
- ・部活動指導員をはじめとする地域指導者のより一層の活用とともに、モデル実証の実施から得られた知見を活かし、教員と地域指導者の十分な連携を意識した取組を行う必要がある。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	1,858人
域内の部活動数	38部	実施した地域クラブ数	3クラブ
全体の指導者数	12人	全体の運営スタッフ数	4人
主な運営団体	公益財団法人藤沢市みらい創造財団		
主な種目	陸上競技		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：18人/クラブ 2年：9人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	滝の沢中学校

地域移行関連の取組、成果

1. 専門的な指導の効果

多くの生徒と保護者から高く評価されている。特に、外部指導者が持ち込む新たな視点や異なる戦術が有益だとされている。

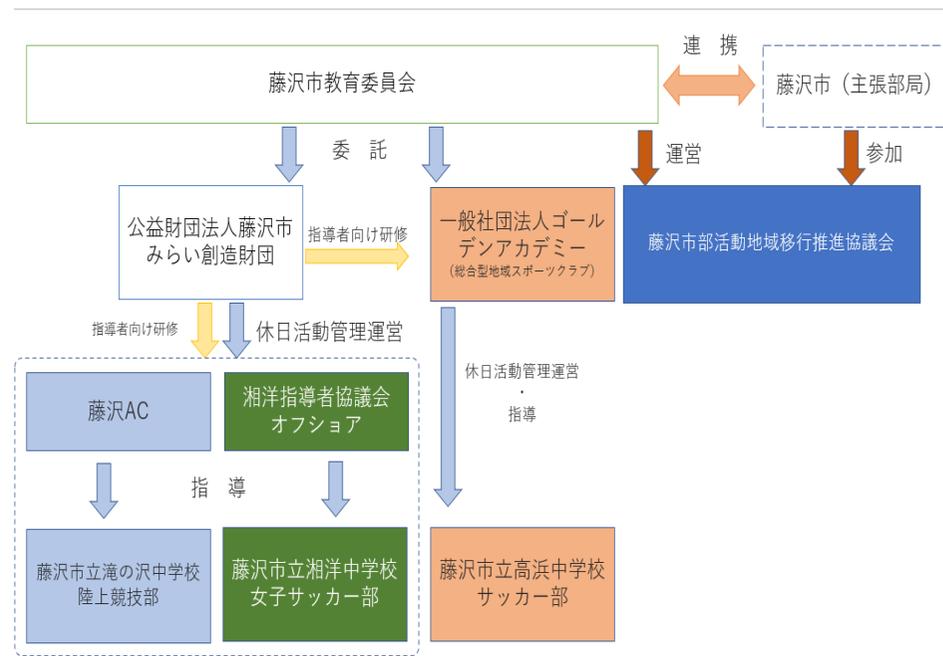
2. 顧問の負担軽減

教員が家庭の事情等でより柔軟に休養を取れる環境が整った点は支持されている。

3. 地域クラブ活動の利点

生徒にとっての活動の幅が広がった。

運営体制図



自治体の課題、現状

本市の児童生徒数は、昭和60年の児童生徒数22,290人をピークに、年々減少しており、令和6年度の中学校における生徒数は3,825人で、15年前の平成20年からみても約500人が減少するなど、緩やかながら少子化が進んでいる。

こうした地域性や背景等を踏まえ、具体的には国の方針に従い、令和7年度末までに休日の学校部活動を地域部活動に段階的に移行していくため、「大学や民間企業等との連携・協働」、「スポーツ協会や各競技団体との連携・協働」、最後に「地域学校協働活動の活用」という3つのスキームを「秦野スタイル」と位置づけ、これまで学校部活動が担ってきた教育的意義を継承しながら、生徒が主体的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保を目指している。

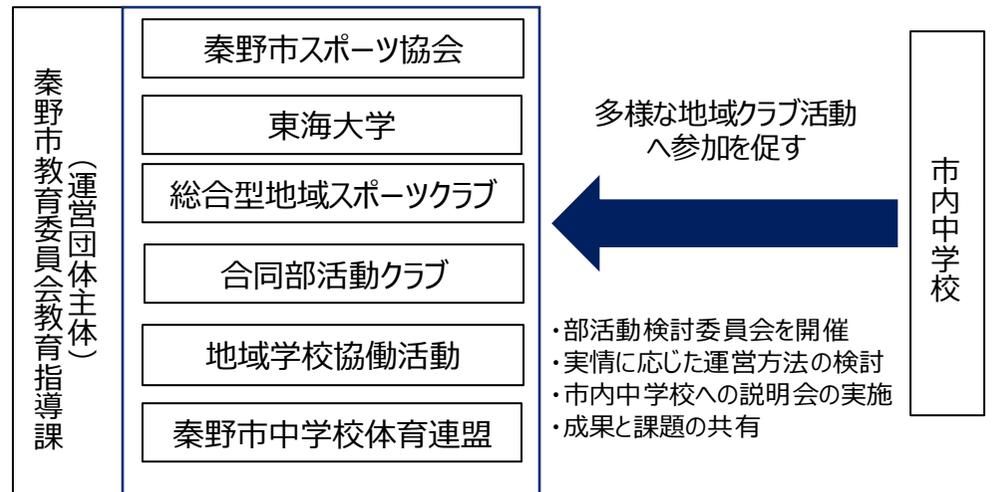
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	3,825人
域内の運動部活動数	78部	実施した地域クラブ数	7クラブ
全体の指導者数	54人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	秦野市教育委員会 教育指導課		
主な種目	体操、バスケットボール、バレーボール等		
平均的な活動回数	1回/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	各中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・学区に東海大学が位置する大根中学校では、令和4年度の体操部を皮切りに、令和5年度にはソフトテニス部でも地域移行に着手してきた。
- ・市内中学校の剣道部の取組については、専門性の高い指導により競技普及のメリットにもつながるといふ共通認識のもと、市剣道連盟と中学校が協働した合同練習会の枠組みを生かし「子どもたちの活動をする機会の確保を目指す環境整備の構築」に努めた。
- ・東中学校では指導者募集のチラシを、公民館を始めとした地域施設等に掲示するといった取組を行っており、現在も8つの部活動で地域移行が進んでいるとともに、部活動改革も推進している。
- ・南が丘中学校では市内の総合型地域スポーツクラブが平日の学校部活動の指導も担う体制整備を進めており、生徒及び教職員とスポーツクラブの指導者が顔の見える関係が構築され、不安軽減につながった。

運営体制図



自治体の課題、現状

日本中で少子化が進展するなか、学校部活動を今までと同様の体制で運営することは難しくなっており、国は部活動を学校単位から地域単位の取組とする方向性を示し、令和5年度以降、休日の部活動から段階的に地域移行を図っていくこととなった。一方で、学校部活動をなくすことになれば、部活動に所属している大部分の生徒が気軽に文化・スポーツ活動に親しむ環境が失われてしまう可能性も考えられる。

こうしたなか、国の地域移行の考え方を踏まえ、町ならではの部活動のあり方を検討した結果、学校での部活動という枠組みはできる限り残した上で、指導を希望する教員と種目指導に優れた地域の指導者を登用し、町の子どもたちが安心して部活動に参加できる、大磯式の部活動の仕組みを整えることとした。

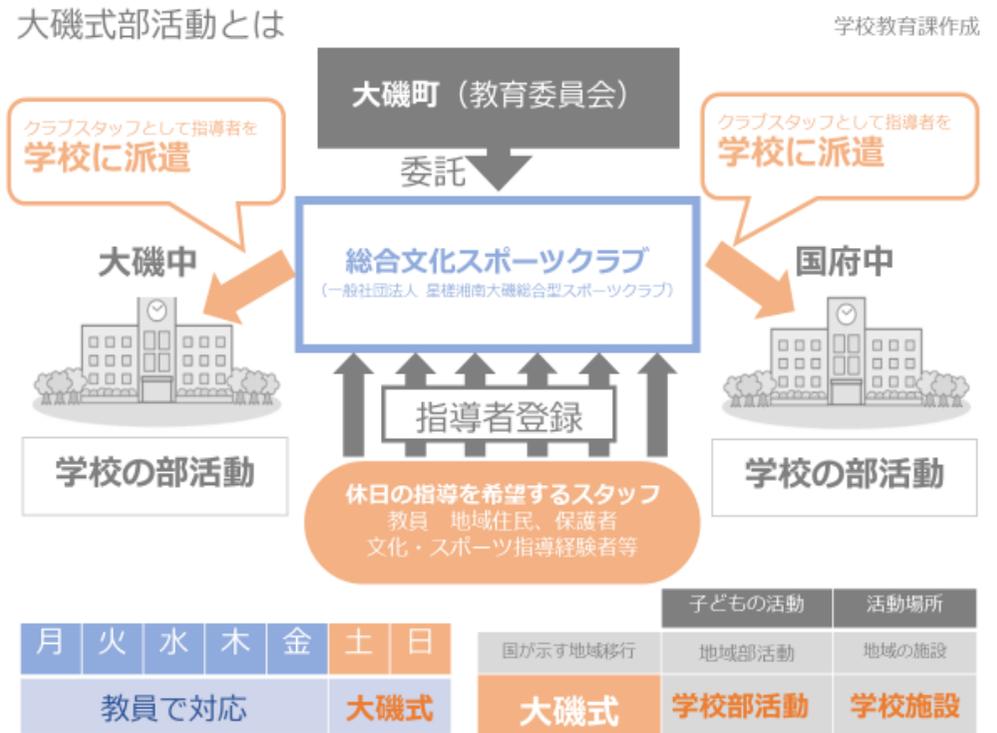
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	2校 (+分校1)	全生徒数	770人 ※R7.2.1現在
域内の部活動数	運動部22 ※文化部10	実施した地域クラブ数	全ての運動部、文化部で実施
全体の指導者数	教員(兼職兼業)29名 地域の指導者15名	全体の運営スタッフ数	なし
主な運営団体	総合文化スポーツクラブ (一般社団法人 星槎湘南大磯総合型スポーツクラブ)		
主な種目	軟式野球、サッカー、ソフトテニス、バスケットボール、卓球など全8種目		
平均的な活動回数	4~5回/月	年間平均参加生徒実数	3年:100人 2年:126人 1年:126人
参加会費	R6は無し R7以降は受益者負担など検討	主な活動場所	大磯中学校 国府中学校

地域移行関連の取組、成果

- 学校部活動に近い環境下で活動できるようにし、子どもたちの「安心・安全」を保障した。
- 学校施設を活用することで、会場用費用を抑え、**新たな家庭負担が無い**ようにした。
- 部活動の活動率を担保し、子どもの「**体験格差**」が広がらないようにした。
- 文化スポーツクラブと連携し、**指導者の発掘・育成を継続的に**行えるようにした。
- 指導を希望する教員**が兼職兼業で引き続き指導を継続できるようにした。
- 地域の指導者を顧問とし、**教員が「部活動に従事しない」**選択ができるようにした。

運営体制図



自治体の課題、現状

開成町では、令和8年度地域移行本格実施に向け令和5年度に準備委員会を発足し、実施計画・協議等準備を行ってきた。令和6年度以降は段階的に順次地域移行化を実施していく。その際に持続可能な事業となるよう町内に存在する「一般社団法人開成町総合型スポーツクラブ」を核として事業全体の管理運営や指導者の量・質の確保を行っていく。

令和6年度には令和7年度以降の実実施計画及び、実際の部活動運営を行う。運動部ではサッカー部1部活をモデルとして地域移行化し、その中で学校施設の活用、運営費の適切な収支、指導者の量・質の確保や休日部活動の在り方を検証していく。実施後、教員や生徒等に対しアンケートを行い、事業の進捗、解決すべき課題等を把握しながら、今後の計画・運営に反映する。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	528人
域内の部活動数	1部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	サッカー部		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：3人/クラブ 2年：12人/クラブ 1年：4人/クラブ
参加会費	無料	主な活動場所	中学校グラウンド

地域移行関連の取組、成果

- ・事業を実施するにあたり、運営者としての関係者理解のための打合せや、生徒やその保護者に対する説明を丁寧に行ってきた。実施前後で大きなトラブルや意見の相違等なく運営することができた。
- ・学校での施設利用について、事前に運営する際の備品の扱いや動線の確認等を行った。運営スタッフも施設をよく理解できたため運営がスムーズに行えた。
- ・広域連携について具体的な意見交換ができた。
- ・受益者負担について、負担していただく部分の明確化が行えた。また、導入していくにあたっての関係者理解や集金スキーム構築の必要性が確認できた。

運営体制図

